

令和元年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 19 日 午後	柿本和彦議員（平成会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 生きがいのある暮らしづくり～生涯教育の充実について～</p> <p>(1) 現在、尾道市内の小中学校では、どういった条件で市民に学校施設を開放しているか。また、どういった施設がどの程度あるか</p> <p>(2) 市民に解放している学校施設では、どんなスポーツを行うことが可能か</p> <p>(3) 小学校体育の運動領域において、体育館で行われるスポーツ種目ではどのようなものがあるか</p> <p>(4) “ソフトバレーボール”や“ビーチボールバレー”、“バレーボール”、“バドミントン”といったスポーツを小学校の体育館で行おうとした場合、すべての小学校で設備や備品は整っているか</p> <p>(5) 人生100年時代をにらんだ際、行政の出前講座を積極的に活用していくことも有効だと考えるがどうか。また、市民の皆さまが積極的に活用できるよう、出前講座の情報提供を充実、例えば、講座の目的、概要、期待される効果といったかたちで整理して情報を提供してはどうか</p> <p>(6) ライフステージやケースといった切り口で、出前講座をカリキュラムに編成してはどうか。そして、ポイント制やインセンティブを付けることにより、市民の皆さまが受講する際の動機づけを行ってはどうか</p> <p>2 学校教育の充実～学校支援ボランティアの活用について～</p> <p>(1) 現在、尾道市内の小中学校で登録されている学校支援ボランティアはどのような種類（活動内容）があるか。また、実際に活動されている学校支援ボランティアはどのような種類があるか</p> <p>(2) 小学校におけるプログラミング教育のスタートに向けて、どのような準備をしているか</p> <p>(3) 現在、プログラミング教育に関わっている学校支援ボランティアはどの程度いるか</p> <p>(4) 今後、プログラミング教育の推進に当たり、学校支援ボランティアを積極的に活用する予定はあるか</p>	